

オロチさんと
しろくまさんの

「窓」の断熱のすすめ



はぁ～悩むわぁ…悩む～



えー、オロチさん大丈夫ですか？何をそんなに悩んでいるんです？



わしの家、エアコンつけちゃっても夏は暑いし、冬はぶち寒いんよ。特に冬はエアコンと一緒にストーブもつけて、寝るときは電気毛布も使っちゃうのに、足元をスースー冷たい風が通っていくに。どうにかならんかなあ…って思っ



なるほどー！日本の家あるあるですよ。夏の風通しを優先したつくりで、特に冬は寒い家が多いんです。なかでも、ポイントは「窓」。この図を見ると、たくさんの熱が窓から部屋に入ったり、外に逃げていく様子が分かります。



ほんとだ！そういえばわしの家も窓が大きいわ。



薄い1枚ガラスの窓や、外気を伝えやすい「アルミ」のサッシだと外気の影響を受けやすいです。二重・三重になった複層ガラスや「樹脂サッシ」だと断熱のレベルが上がっておすすめです。



ふんふんなるほど！これはメモだわ。部屋を借りる時とか、家を建てる時は窓の周りをチェックじゃね。いますぐにできる対策はあるかい？



夏は太陽の光をカットするサンシェードをつけたら、冬は床まで届く長いカーテンで、冷気を窓際でブロックするのもおすすめですよ。



それならわしにもできるわ！さっそく次の休みに窓の周り見てみて、断熱DIYに挑戦じゃ！今年こそ快適にすごすでえ～。

出典)冷暖房時の開口部からの熱流出入割合／全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<https://www.jccca.org/>)より

いま、紹介したい作品

漆の魅力と「金継ぎ」のうつわ

「漆(うるし)」って、知っていますか？日本や中国、アジア地域の山に生える木の一種で、木の皮や幹に傷をつけて樹液を取り、塗料として使います。木の器や箱、盆などの表面を強くしたり傷を防いだりする特徴があり、日本では縄文時代の遺跡から漆を塗った器が発見されています。現在、福島県の会津漆器、福井県の越前漆器、石川県の山中塗・輪島塗など1府16県に産地があり、島根県では明治時代、松江に八雲塗が誕生しています。

松江市に生まれ、金沢の美術大学で漆工芸を学び、現在は出雲市の工房で漆職人として活動する長屋桃子さんは、「湿度の高い日本海側や東北に産地が集中しているのは、漆に空気中の湿気を取り込んで固まる性質があるからです。島根の気候は漆工芸に適しています」と、



「いつか漆に携わる全国の職人を島根に呼び、島根から広め盛り上げたい」と、長屋さん。

ていねいな暮らしと
心の豊かさをつなぐ「金継ぎ」



修繕した器

言い、今、若い人の中では静かなブームになっているんですよ。持ち物を多くというより、お気に入りの物を繕いながら大切に使う楽しさを教えてくれます」と、長屋さん。漆が、ていねいな暮らしと心の豊かさをつなぎます。モダンなデザインの碗や携帯電話のケースなど、伝統の技を受け継ぎながら漆の新しい可能性を探求する長屋さん。「島根から漆の魅力を全国に発信し多くの人に知ってもらいたい」と、未来を見つめます。

<表紙の1枚> 金継ぎの茶碗

天然の接着剤である漆を使い、壊れた陶器をよみがえらせる「金継ぎ」の技術。器に新しい景色が生まれる金継ぎは「金繕い」とも呼ばれ、モノを大切に使用してきた日本の美しい文化が表れています。



漆は防水、防虫、防腐効果に加えて強い接着性があり、壊れた陶器のかげらをつなぎ合わせて修復する「金継ぎ」にも使われています。大切にしていたカップや茶碗、皿などを割った経験はありませんか？かげらをつなぎ合わせ漆で接着すれば、再び命が吹き込まれ、継ぎ目も味わいとなって戻ってきます。「金繕いとも



島根の漆職人 長屋桃子
@momoko_nagaya
オンラインストア
<https://urushiwsn.base.ec>

人生も
サステナブルも
「私仕様」で

Shima Eco
2023年度
Vol.
22

し ま エ コ

COOL
CHOICE

いま、紹介したい作品

金継ぎのうつわ

島根の漆職人 長屋桃子 (出雲市)

特集

丁寧な暮らし。 人生もサステナブルも「私仕様」で

私が選びたいもの／いまHOTなnews／今日からできること／一緒にゼロ・ウェイスト／オロチさんとしろくまさんの「窓」の断熱のすすめ

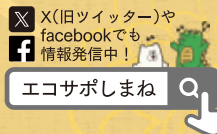
しまエコ

2023年度

Vol.22

島根県地球温暖化防止活動推進センター
公益財団法人しまね自然と環境財団松江事務所

〒690-0887 島根県松江市殿町8-3(タウンプラザしまね2階)
TEL.0852-67-3262 FAX.0852-67-3787
<https://www.nature-sanbe.jp/eco/>



竹紙
100



人生もサステナブルも「私仕様」で

秋が来ないのでは。と思うほどの残暑や、まるで熱帯雨林のスクールのような雨。「記録的な猛暑」は聞きすぎて通常のことになってしまったし、雨が降るとすぐ浸水したり、土砂崩れなど大きな災害が頻繁に起こるようになりました。

遠い先のことだと思っていた「地球温暖化」の影響を如実に受けるいま、世界が目指す「2050年ゼロカーボン(二酸化炭素の排出を実質ゼロにする)」はもう待たなしの状態。そんな状況にあることは知っていて、何かしたいと思ってはいても毎日の暮らしは相変わらず、勉強に、仕事に、家事に、育児に…やることに追われ、気が付けばあっという間に1年が終わるといふ人も多いと思います。

価値観が多様化してライフスタイルも様々なように、持続可能な未来へのアクションも、自分に合うものを選び、暮らしの中に取り込むものとなりました。「私はこれが好き!」というものを選ぶことで、暮らしの質を高めながら、これ以上気候変動の影響を受けない、安全でより良い未来をつくり、次世代に手渡すことができます。

えい こう まる
株式会社 永幸丸
永見さん

海の可能性は無限!
暮らしに新しい「幸」を

「関わる人を幸せにすること」を社訓とする株式会社永幸丸。松江市島根町で漁業や岩ガキの養殖、民泊の運営、海のアクティビティ体験などの事業を展開しながら新鮮な魚介類を全国に販売しています。築100年近い古民家を改装した「海の駅 永幸丸」では、代表の永見輝晃さん自らがとった魚を始めとする旬な食材を使ったランチを提供。お店の一角には海産物の他に無農薬で栽培された地元の野菜や加工食品、環境に優しいおすすめの日用品などが並びます。また、一棟貸しの民泊「つる」では部屋の清掃やリネンのクリーニングに自然由来の洗剤を使用することで海の環境に配慮した運営を実践しています。「島根の海には無限の可能性がありま



よ!」と永見さん。その頭の中には新しいチャレンジが浮かんでいるようです。しまねの自然や地域が持つ新たな可能性をみなさんの目線で発掘してみませんか?



新鮮な海の幸が楽しめる「海の駅 永幸丸」

株式会社永幸丸 松江市島根町野井678-4 Tel:080・6379・9324
@iwagaki_eikoumaru

I CHOOSE □□
私が選びたいもの



かね
Cafe and Gallery 鐘や
八嶋さん

地域の子どもたちを応援する
「Cafe and Gallery 鐘や」

飯南町で100年近く町の人々から愛されてきた老舗旅館「塩屋」。2022年に「カフェ&ギャラリー鐘や」として再生しました。地元の減農薬で育った新鮮な野菜を使うカフェで、週2回、夕方に「中高生食堂」を開き、子どもたちへ低価格で温かい食事を提供しています。「目指すのは『中高生たちの食事や語り、気持ちのリセットの場になること』『地域の財産である伝統的建造物を守ること』『本物の芸術に触れてもらうこと』」と、代表の八嶋敏江さん。アーティストの息子さん夫婦のチョイスで、店内の内装や食器、アート作品など、幅広いジャンルの芸術にも触れられます。看板に描かれているのは未来に希望の鐘を鳴らす子ども。地域に文化の灯をともし、子どもたちを応援するカフェで、四季折々に心豊かな時間を過ごしませんか?



Cafe and Gallery 鐘や 飯石郡飯南町野萱805 Tel:0854・76・2438
mail: kaneyacafeandgallery@gmail.com kaneya.cg.iinan



量り売り Salema
今崎さん

好きなものを好きなだけ。
量り売りが叶える
暮らしの幸せ

江津市の古民家に店を構える自然食品店「希樹」の一角に常設されている「量り売りサレマ」。ナッツ、ドライフルーツ、香辛料を中心に、アラムや昆布などの海産物、豆、米粉など60~70種の食品がガラス瓶に入って木製の棚に並びます。「量り売りは求める量だけ購入でき、食べ残しを防いでフードロス削減になります。仕入れの際は有機栽培やフェアトレードなどの食材を意識しています。買うことで地域の生産者さんや途上国の生活を応援することもできるんですよ」と、店主の今崎希さん。好きなものを好きなだけ自分で量って、持参の袋や瓶に詰めれば家に帰った途端ごみになる包装材もありません。「市販のカレールーにスパイスを足してみる」「今夜のホットミルクはシナモンスティックで」…など、量り売りが叶える暮らしの幸せがここにはあります。



量り売り Salema(サレマ) 江津市都野津町2069 @hakariuri-salema

COOL CHOICE
いまHÖTなnews

これからは「デコ」の時代!?

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動が始まりました。その名も「デコ活」。脱炭素という意味の「Decarbonization」(デカーボナイズーション)と、環境にいいエコ「Eco」を合わせたDeCO(デコ)に「活動」「生活」の「活」を組み合わせた愛称です。無理や我慢をするのではなく、暮らしを豊かにしながらみんなで脱炭素を目指す運動に注目です。

詳しくはこちら! /
デコ活
くらしの中のエコろけ

今日からできること

「推し」の生産者を見つける

島根には未来を見据え、熱い志やこだわりを持って、ものづくりをする生産者さんやお店、企業があります。身近なところから探して応援してみてもいい。

一緒に /
ゼロ・
ウェイスト

「ゼロ・ウェイスト」とは、無駄や浪費、ごみを無くすという意味。分別・リサイクルなども大事ですが、そもそもごみを生み出さないようにするという考え方です。

- すぐごみになるものは受け取らない
- 長く使えるものを選ぶ
- 必要な量だけを買う
- くり返し使えるもの、シェアできるものを選ぶ
- 捨てる時を考えて、リサイクルできるものを選ぶ
- コンポストで土に還したり、肥料にする などなど

日本は多くのごみを燃やして処理しています。外国から高いお金(税金)で買った石油を使い、CO₂をたくさん出しながら燃やすのは、もう止めたいですね。一緒にゼロ・ウェイストを目指しましょう。

参考:環境省 ごみをなくす「ゼロ・ウェイスト」